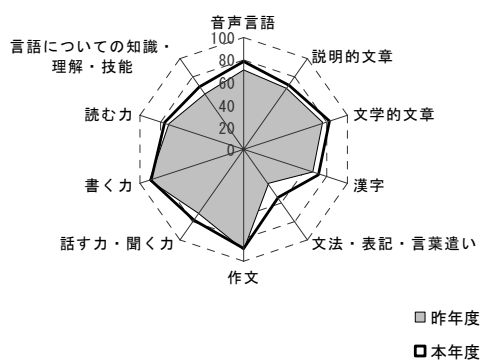


1 年 国語

宇都宮市立瑞穂野中学校

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と18年度の状況）

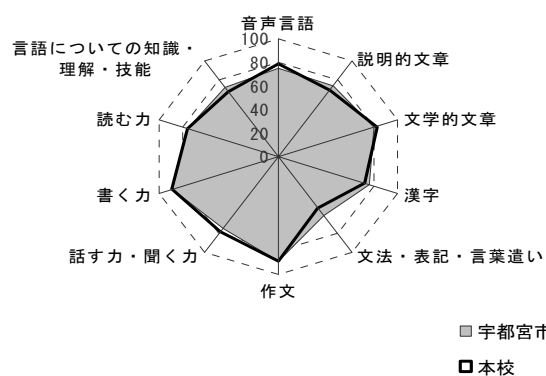


■平均正答率

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	音声言語	78.3	71.1
	説明的文章	70.6	67.4
	文学的文章	82.2	76.5
	漢字	72.6	67.7
	文法・表記・言葉遣い	53.6	37.7
	作文	88.6	89.9
観点別	話す力・聞く力	78.3	71.1
	書く力	88.6	89.9
	読む力	76.4	71.9
	言語についての知識・理解・技能	68.4	61.0

受検人数	本年度	昨年度
	83 人	57 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



■ 平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	音声言語	75.3	78.3
	説明的文章	73.3	70.6
	文学的文章	79.7	82.2
	漢字	76.2	72.6
	文法・表記・言葉遣い	62.0	53.6
	作文	88.9	88.6
観点別	話す力・聞く力	75.3	78.3
	書く力	88.9	88.6
	読む力	76.5	76.4
	言語についての知識・理解・技能	73.0	68.4

受検人数	宇都宮市	本校
	4202 人	83 人

平均正答率の状況から、本校としては、昨年度から比べると全体的に伸びているが、市と比べると下回っている領域があるので、今後特に「文法・表記・言葉遣い」の領域において指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

領 域	平成19年度の状況	今後の指導の重点
音声言語	・平均正答率は昨年度同様、80%を下回っているが、78%とかなり8割に迫っている。特に「話の趣旨の聞き取り」や「意見と事実の聞きわけ」が十分できないため正答率は8割に達していない。	・「話すこと・聞くこと」の活動を通して、文章や話の構成・論理の展開に注意することで、筆者や話し手の意図をとらえる力を身に付けさせたい。
説明的文章	・平均正答率は昨年度同様、80%を下回っている。特に「文章の要旨」をまとめたり「語句の言い換え」が苦手	・説明的文章を読む学習との関連を図りながら、筆者の考えや意見を正確にとらえさせたい。
文学的文章	・平均正答率は、80%を上回っている。「語句の別表現」が正答率低い。	・これからも読書の時間を大切にするとともに、登場人物の心情をとらえる学習活動等に力を入れていきたい。
漢字	・平均正答率は昨年度同様、80%を下回っている。「小6・中1の漢字書き取り」が正答率低い。	・漢字テストや授業中の書き取りなどを通して、特に漢字の「書く力」を育てていきたい。
文法・表記・言葉遣い	・平均正答率は、昨年度同様、他の領域より低く、80%を下回っている。文の成分や故事成語の意味が十分理解されていないために、正答率が低い。	・正しい言葉遣いが、生活の中で生かされていない場面をたくさん見かけるので、語句の意味や用法についての調べ学習を通して、言葉遣いへの理解を深めさせたい。
作文	・平均正答率は昨年度同様、80%を上回っている。どの小問も正答率80%を超している。	・語彙力を高める学習との関連を図りながら、短作文の学習などを積極的に行っていきたい。